

令和5年〇月〇日

小金井市子ども・子育て会議
会長 倉持清美様

小金井市子どもの居場所部会
部会長 萬羽郁子

子どもの居場所部会審議内容の報告について（案）

本部会は、前期に引き続き、「のびゆくこどもプラン 小金井」（第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画）の策定経過における、子どもの居場所について、集中的に議論を行う機会を設けるべきとの意見に基づき設置されました。

審議に当たっては、令和3年9月15日付「小金井市子どもの居場所づくりの推進に関する指針」を踏まえ、子どもの権利の保障に資するため、すべての子どもに居場所があることを目指し、家庭、地域、教育機関、市が一体となり、取り組んでいくための指針となるよう、鋭意審議を重ねてまいりました。

審議の結果を、別添のとおりまとめましたので、ここに報告いたします。

1 この間の経過

令和3年9月15日付「小金井市子どもの居場所づくりの推進に関する指針」に基づき、小金井市では子どもの居場所づくり補助事業を開始し、令和4年度は10の団体から申請がありました。しかし、事前に開催した小金井市子どもの居場所づくり事業連絡会には、それ以上の参加団体があったと報告を受けています。

今後、このような団体が事業実施に向けて必要なものを検討するため、実際に令和4年度から子どもの居場所づくり事業を始めた団体の方から御意見を伺いました。

これらを基に部会で検討したことについて、次のように要望します。

2 問題点の整理

(1) 今後、子どもの居場所づくり補助事業を発展させていくに当たり、次のようなことが必要だと考えられます。

ア 子どもの居場所事業を始めたいと考えている方や子どもの居場所事業を始めた方のサポート全般。また、その際は、大人目線ではなく、子ども目線でのサポートが大切。

イ 子どもの居場所事業を実施したいと考えている方と子どもの居場所事業を実施する場所を提供してもいいという方とのマッチング

ウ 子どもの居場所事業でボランティアスタッフを募集している団体とボランティア活動を行いたい方とのマッチング

エ 子どもの居場所事業に参加したい子どもやその保護者への子どもの居場所づくり補助事業団体の紹介

オ 行政と子どもの居場所づくり補助事業団体の間に入る人・しくみの存在

カ 個別の団体だとその団体の利益が満たされればよいとなってしまうので、個々をつなぐ広い視野で小金井の子育てのためにというビジョンを持った組織

(2) 次のような意見もありました。

ア 市場で救えない最弱者は確実に行政がケアすべき。

イ 子どもの居場所づくり補助事業団体を増やしていくに当たり、飽和してきた時にどうするかというのも考えておくことが必要。

3 施策提言

今後、2の役割を担える中間支援組織の創設もしくは既存組織への役割付与が必要と考えます。さらなる子どもの居場所づくりの充実を求めます。